



S REPORT サステナブルレポート No.84

砂漠化に荷担する 日本の紙消費

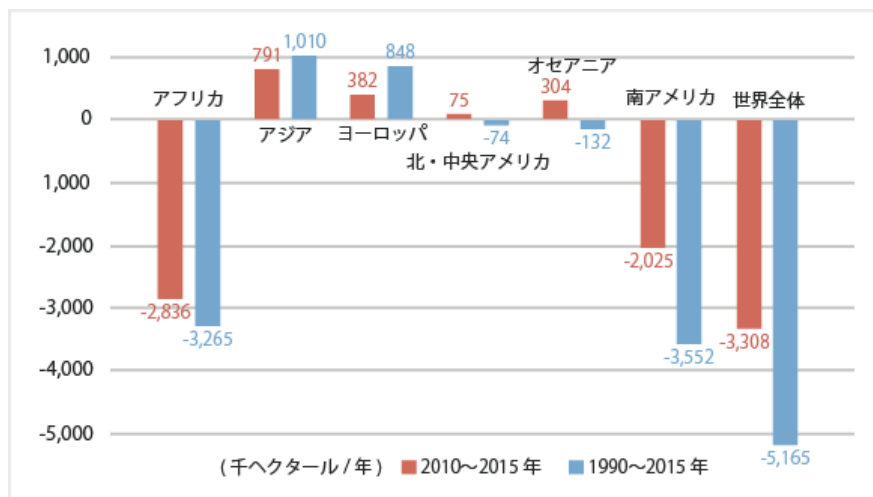
廃棄物

環境サービス

■世界の森林の現状

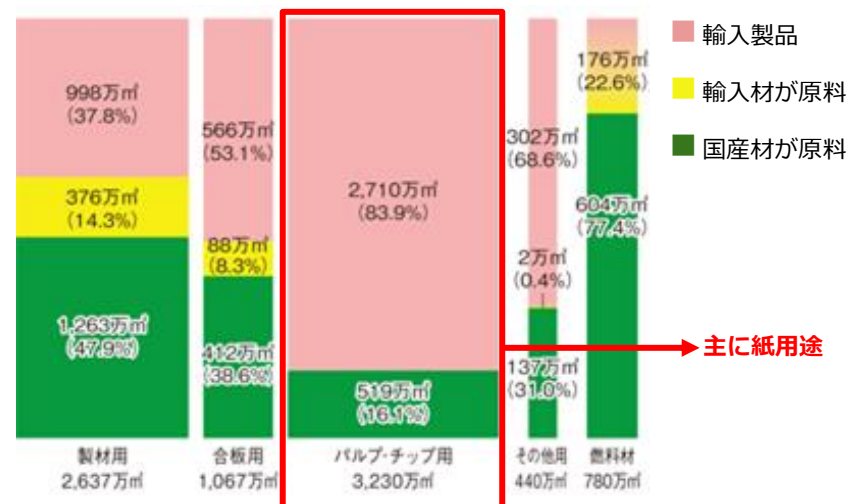
- 世界の森林は減少を続けており、**毎年330万ヘクタールが減少**している。（下記グラフ参照）
およそ1年間に東京都15個分に相当する森林面積が減少していることになる。
- 日本の森林面積の増減はほぼなく、消費している木材の**約7割は輸入**している。
- 木材の**用途の4割は紙**であり、日本は中国・アメリカに次いで世界で**3番目の大消費国**である。

■世界の森林面積の地域別純増減



出典：環境省

■日本の木材需要の構成



出典：林野庁

木と同等の使い勝手と供給力をもつ国内の代替品とは

■ 竹への期待

- 大量不良竹と木材に比べ成長が速く生産サイクルに**供給力が期待されている**。
- 中越パルプ工業株式会社川内工場は国産の生竹の**間伐採からパルプ・紙まで一貫生産体制**を確立した。
- 紙製品の相場に比べ価格が高くなってしまふ為、需要を作り生産を増やすことでコスト減が図られる。
竹林は小規模分散していて、材質は空洞で固くかさばることから**加工費は木材の約3倍**かかる。

■ 非木材グリーン協会認定マーク



環境保全に役立てるために、非木材紙を利用した紙製品を研究開発し、その普及・啓蒙活動を図ることを目的として設立された協会非木材原料が10%以上の商品につけることのできるマーク。

出典：環境省

■ 竹で作られている商品



日本の竹100%で作られたノート
2冊セット ¥ 880 (税込)

出典：竹紙ラボ



日本の竹100%で作られた
MEMO TOWER
¥ 2,200 (税込)

出典：Swings

国内に活用できる竹はどれくらいあるのか

■ 放置竹林の現状

- 国内の竹林面積は約16万ヘクタール。1ヘクタールあたり約5千～1万本の竹が生えている。
- 有効利用は限定的であり、現状は**すべての木材需要に応えられない**。
- **生産者の高齢化**や**プラスチック製品の普及**などが整備課題となり放置竹林が多い。
- 放置竹林は周囲の森林に侵入し光を遮ることで他の植物を弱らせてしまうため、**行政やNPO法人が整備支援**に乗り出している。

■ 伐竹支援例（大分県）

1 ha 当たりの標準事業費（伐竹+片付け）

（単位：円）

伐採本数 \ 平均直径	6cm以下	10cm以下	14cm以下
10,000本未満	621,000	967,000	1,479,000
15,000本未満	968,000	1,530,000	2,362,000
15,000本以上	1,314,000	2,092,000	3,244,000

$$\times \boxed{\text{伐竹面積}} \times \boxed{3/4} = \boxed{\text{補助金額}}$$

出典：大分県庁
（令和2年度 森林環境税を活用した「竹林再生事業（優良竹林化）」）

■ 放置竹林（左）と整備竹林（右）



出典：京都府

代替素材も有限なので偏らない消費を目指す

■ 毎年世界から消える森林の面積



情報提供から実行支援まで
SDGs・ESGの企業対応を
 支援しています。

- ✔ 何から取組み始めればいいかわからない
- ✔ 経営層や社員への浸透に悩んでいる
- ✔ SDGs・ESG投資に関する社内セミナーや社員研修を行いたい

無料!

お問い合わせ／お見積もり

お急ぎの方はお電話で

☎ 03-5542-5300

受付時間 9:00～19:30

参照・引用資料

- 環境省, 「国際的な森林保全対策」, (https://www.env.go.jp/nature/shinrin/index_1_1.html)
- 林野庁, 「木材産業と木材利用」, (https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/30hakusyo_h/summary/s04.html)
- 環境省, 「環境ラベル等データベース」, (https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/a04_31.html)
- Swings, 「日本の竹でつくられた紙・竹紙と社会の接点をつくるプロジェクト「MEETS TAKEGAMI」」, (<https://bulan.co/swings/meets-takegami/>)
- 竹紙ラボ, 「竹紙100ノート」, (<https://www.takegamilabo.com/top/%E7%AB%B9%E7%B4%99%E3%83%8E%E3%83%BC%E3%83%88/>)
- 林野庁, 「竹の利活用推進に向けて」, 2018年10月 (<https://www.rinya.maff.go.jp/j/tokuyou/take-riyou/attach/pdf/index-3.pdf>)
- 大分県庁, 「補助事業の概要」 (<https://www.pref.oita.jp/soshiki/16060/chikurinsaisei.html>)

サステナブルレポートに関するお問い合わせ先:

SREPORT 編集部 ☎ 03-5542-5300 ✉ info@sfinter.com

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

Satisfactory



全従業員で
毎週更新中

<https://www.sfinter.com/report/>